

(仮称) 都市計画道路 伊駒アルプスロード環境影響評価方法書についての
意見の概要と事業者の見解

1. 住民意見募集の概要

- (1) 意見募集期間
平成28年5月30日（月）～平成28年7月13日（水）
- (2) 意見提出件数
2件（2人（団体））

2. 意見の概要と事業者の見解

	意見の概要	事業者の見解
事業計画	沿道事業所への被害が予想される場合は、関係部門との密なる情報交換や対策（事前、事後）をお願いしたい。また、風評被害について、広報宣伝、学校教育、観光事業による対策・支援についてもお願いしたい。	
大気質	沿道事業所への影響が懸念されることから、粉塵等の実態調査（道路貫通前と後の比較・予想、観光や産業政策部門との連携調査）について、関係部門との密なる情報交換や対策（事前、事後）をお願いしたい。	当該事業では生活環境や自然環境等の影響の回避、低減に努めてまいります。 沿道事業所への被害が予想される場合は、事業損失補償として対応を検討します。
動物・植物・生態系	上伊那教育会関係の教師の方々、自然保護団体（日本野鳥の会・日本自然保護協会など）や愛好家による任意団体などの構成員、信州大学農学部最新の調査研究など、地域の専門家や愛好家からの聞き取り等の情報収集を希望する。	当該地域に精通した有識者等への聞き取り調査を必要に応じて実施し、動物（生き物）の情報収集に努めます。
	「天竜川上流の主要な・・・」シリーズ及び「東春近清水川生き物調査」による、さらなる地域における現状調査記録の有効活用を希望する。特に、「東春近清水川生き物調査」では、スナヤツメ等の重要魚類の記録がある。	ご指摘の資料や調査記録についても必要に応じて参考とし、地域の動植物の情報収集に努めます。
	動物種の調査期間として、特に早春から盛夏に至る期間は毎月の調査実施を希望する。鳥類の3月～6月頃までの繁殖期や昆虫類の4月～8月頃までの羽化・発生期は欠かせない。貴重な水系や河岸段丘林を対象にするなどポイントを絞った計画立案を願う。	ご指摘の通り確認適期を逃さないように十分留意して調査を実施します。また、生息域と考えられる水系や河岸段丘林にはトラップやカメラの設置を検討しています。
	昆虫類トンボ種に関して、流水系（川）の調査に合わせて止水系（湿地・池・堤など）環境の調査実施と記録を希望する。伊那市内の計画路線においては、大沢川・清水川・堂沢川でアオハダトンボ、大沢川でサナエトンボ類（ミヤマサナエ、オナガサナエ、コオニヤンマなど）を始めとする多様なトンボ種が記録されている。調査の結果、重要な動物種に関しては計画路線による影響・予測評価を行い、影響を最小限に抑えられる工法・工程を選択するよう希望する。	ご指摘いただいた多様なトンボ類については、ご指摘の河川や止水系について現地調査の中で確認し、必要に応じて予測、評価及び環境保全措置の検討を行い、希少種への影響に配慮します。
	ナゴヤダルマガエルおよびトノサマガエルとの交雑種について十分な調査と、調査結果次第では交雑回避の対策を立案する必要がある。	ご指摘の情報を参考にさせていただき、両生類への適正な環境影響評価に努めてまいります。